

## 平和カップ広島柔道大会で2年ぶり2度目の優勝

第44回平和カップ広島柔道大会（広島県柔道連盟、中国新聞社主催）が3月24日と25日の両日、広島市東区スポーツセンターで開催され、一般1部に出場した当社柔道部が2年ぶり2度目の優勝を果たしました。



平和カップ広島柔道大会で2度目の優勝を果たした当社柔道部＝3月25日

同大会は、西日本を中心に全国から企業や高校、大学、クラブチームなどが集まり争うもので、今回は全5部門に過去最多の261チームが参加しました。当社柔道部は東日本大震災のため前回は欠場。25日、27チームで男子の頂点を争う一般1部に2年ぶりに出場しました。

3チームによる総当たり戦で行う予選リーグを2勝0敗で突破すると、決勝トーナメントの初戦で地元の広島県警察を相手に4-0で勝利し、駒を進めました。

新日本製鐵との準決勝では、中堅戦を終えた時点で0-1の劣勢に立つものの副将・花本選手が果敢に攻め込んで一本勝ちを収め追い付き、大将戦にもちこみました。期待を背負った大将・須藤選手は拮抗した試合運びが続く中、試合終了間際に返し技で有効を奪って優勢勝ちし、当社チームが2-1で接戦を制しました。

決勝では昨年優勝の旭化成と対戦。先鋒・西岡選手、次鋒・寺島選手が共に引き分けてつなぎ、中堅戦で河原選手が勝利して1-0にすると、副将の花本選手が一本勝ちを収め勝負を決めました。続く須藤選手も大将戦を制し、3-0で第42回大会以来、2度目の優勝を果たしました。

5試合すべてを一本勝ちし、チームの勝利に貢献した副将の花本選手は「攻めることを強く意識し、全試合を一本勝ちするつもりで戦った」と本大会を振り返り、「今回の優勝に満足することなく、部員一人一人がレベルアップをして全日本実業柔道団体対抗大会（6月）で優勝したい」と次の目標を掲げました。